

弦和会会員の皆さま

平成28年11月吉日

世田谷区立弦巻中学校  
弦和会会長 井上 陽子  
研修委員長 上野り子

### 第三回家庭教育学級「教えて是枝監督！」開催レポート

菊花薫る季節となりました。

去る10/22(土)に弦巻中学校家庭教育学級では、ゲストとして映画監督の是枝裕和氏・篠崎誠氏をお迎えしました。奇跡のような素晴らしいご縁があり実現した会です。普段テレビや取材などではなかなか聞けない是枝監督の本音トークやご自身の学生時代について予定時間を超えてたくさんお話ししてくださいました。貴重な内容でしたので、一部ご紹介したいと思います。(内容は抜粋です)

- ◆テーマ：「教えて是枝監督！！」
- ◆平成28年10月22日(土)14:00より ◆弦巻中学校 体育館にて
- ◆ゲスト：映画監督 是枝 裕和氏 ◆きき手：映画監督 篠崎 誠氏

#### 【子どもたちの冒険を助けてくれるのは「評価しない大人たち」】

○嫌味になるけれど、僕は勉強もできてずっと学級委員をしているような子どもだった。でも通知表で先生に「子どもらしい伸びやかなところに欠ける」と書かれてとてもショックだったことを覚えている。

○いまは学校でも家庭でも、どこへ行っても必ず何かに所属していて、その中にヒエラルキーがあり逃げ場がないと感じる。『奇跡』という映画では子どもの冒険を助けてくれる大人として、家庭ではおじいちゃん、学校では図書先生と保健の先生を描いた。どこにいても“評価しない大人”の存在は子どもたちにとって重要だと思う。僕は妻と小3の娘と3人家族だが、その中で“おじいちゃん”的な役割を担うことにしている(笑)。

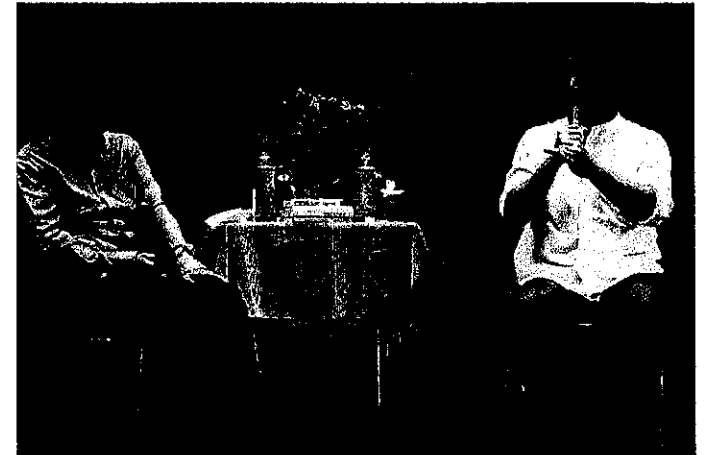
#### 【役に立つかわからないことに夢中になれる最後の時間～大学時代】

○いま世間の流れが「ムダを省く」ことに集中していて最短距離で全てに到達しようとしている。「すぐ役立つのか?」「意味はあるのか?」ばかりで不自由さを感じる。大学までがそれを良しとする傾向に疑問を感じる。

○僕は「大学は役に立つのか立たないかわからないことに夢中になれる最後の時間」だと思っている。子どもたちにはそうした時間を過ごしてほしいと思う。自分自身は大学に行かずに毎日映画館に通っていた。友人も2人しかいない。そんな風に夢中になれるものが何かあるといいと思う。

#### 【いかに自己愛を消せるか ～映画製作についてのポリシー～】

○映画監督というのは「俳優やスタッフの持っているポテンシャル(可能性)を100%ひき出すお仕事」だと思っている。なので、こちらが押さえつけて何かをしてもらうのではなく、関わる人たちにはどんなことでも発信してもらってより良いものをつくりたいと考えている。なので自分のチームでは「作品をとにかく前に進めるチーム」と「進捗を気にせず何でも言うチーム」の両方を置くようにしている。



○自分の思ったことや言ったことに違う意見を言われたり反論されたりするとイライラするのは、全て「自己愛」(自分の思い通りになってほしい気持ち)だと思っている。作品が良くなるほうがいい。そのために「いかに自己愛を消せるか」が良いものを作るポイントだと考えている。

#### 【カメラは世界を発見する道具 ～質問より最近心を動かされたことは?】

○よく“カメラやビデオで自分の世界観を表現する”と話している人がいるが僕は違うと思う。カメラは外にしか向かない。だから自己表現ではない。外に向けてみて、自分のわからないものを撮ってきてそれを探りにまた外へ行ってみる。だから僕は「カメラは世界を発見する道具」だと思っている。

○そんなやり方で、母校の小学校の子どもたちにカメラを持って外に行く授業を実施した。一人の小学生が切り取った世界から、現代社会を知るきっかけがあっ

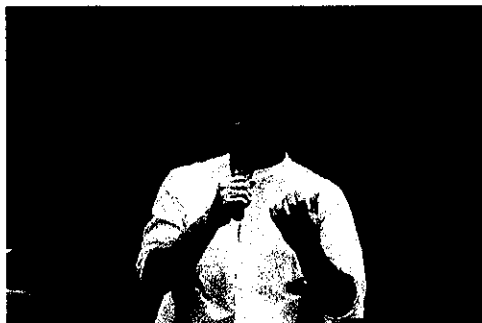
た。大人も知らないことにたどり着いた。そのことにとても心を動かされた。ドキュメンタリーのあり方を再発見した気がして、こんな風にカメラを持ち続けたいと強く思っている。

### 【奇跡のような瞬間 ～質問より 子ども出演の映画が多い理由／魅力は？】

○子どもは撮ってみたいとわからない。いつも発見があるので撮っていて面白い。だから子どもは好き。書けない(作ることができない)ことの方が面白いと感じる。

○大好きな写真家さんが『幸せを感じるのは「撮れてしまった!」とを感じるような奇跡のような瞬間に立ち会えること。思わず「ありがとうございます」と言いたくなるような瞬間は幸せ。とても作品が豊かになる。』と話していた。

僕もこういう瞬間が欲しい。そうしたところに「豊かさ」がある。それは本筋でなくても構わない。本筋とそうした奇跡の両方を求めている。



### 【質問より ～樹木希林さんはどんな方ですか？】

○あのままの人。爆弾発言をする危険な人、とされていることもあるけれどとても素敵で僕は大好き。裏がなく本質をつくらそう言われるだけ。カッコいいと思う。僕もああいう人になりたい。

### 【質問より ～どんな俳優さんと仕事をしたいと感じますか？】

○無名でもいい。顔よりも声を重視するかもしれない。まずは声を聞いて、会ってみて、帰り道にその人が出演する脚本を思いついたら「その人」という感じ。

○福山雅治さんも僕の好きな俳優さんの一人。福山さんは何もしていない時のたまたまがとても雄弁。演技していないときが画になる素晴らしい人だと思う。

○広瀬すずさんとは『海街Diary』のオーディションで初めて会ったが、部屋に入ってきた瞬間に「この子だ!すず(役名)が来た!」と思った。『誰も知らない』の柳楽優弥くんに初めて会ったときも「あ!この子だ!」と思った。まれに

そういう出会いがある。

○出演していただく方はバラエティ番組を観て依頼することもある。YOUさんも阿部寛さんもバラエティ番組でのたまたまいややりとりを観てピンときて、翌日に事務所に電話をかけて出演依頼した。

○綾瀬はるかさんも画面のままの人。初めてお会いしたとき、綾瀬さんの所作の美しさに驚いた。天然なところも魅力だが、彼女はとても身体能力が高く、そのことがお芝居の上手さにつながっていると感じた。

### 【質問より ～次に作りたいのはどんな映画ですか？】

(来場していた小学生の男の子からの質問でした)

○いつも“家族”の映画と言われているので、久しぶりに家族から離れてみようと思っている。次回は「法廷劇」を撮る予定。いま脚本を書いているところなので、完成したら是非観に来てください。

### 【アンケート回答より抜粋】

- ◆貴重な話をきけてよかったです。映画を撮るうえで様々な工夫をしていると知ることができてよかったです。(生徒・女子)
- ◆特別な人間ではなく、人間味のある人で親近感を抱いた。(生徒・男子)
- ◆大学という「最後の無駄な時間」を過ごせるように今は背中を押したいと思います。(保護者・女性)
- ◆映画作りの現場の話は子育てのヒントになりました。(保護者・女性)
- ◆篠崎監督のお話の引き出し方も絶妙で心のほんわかする人間味あふれる対談でした。(保護者・女性)
- ◆貴重なお話をありがとうございました。希薄になった日本人の倫理観、道徳をテーマにした映画を楽しみにしています。(保護者・男性)

### 【スタッフより一言】

◇テレビなどで拝見していて優しそうな監督というイメージでしたが、実際にお会いしてみて感じたのは「鋭さ」でした。単なる「気さくでいい人」というのではなく、鋭さも好奇心も愛も溢れていてそこが深い魅力なのだなあと感じます。◇篠崎監督のお話の引き出し方も素晴らしかったです。お二人の仲の良さも伝わって対談をより濃密な時間にしていただきました。◇ご多忙のお二方の奇跡の対談でした。二度とないであろう貴重な機会をいただきまして本当にありがとうございました。以上 [文責：研修委員T]